



設置工事要領書

(取扱説明書別途添付)

製品型式

DIS-250AH-E

●必ず内容を確認してから施工をおこなってください。

はじめに

この設置工事要領書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

●建築基準法(同施工令)および消防法などの関連法規に従って施工してください。

●配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従ってください。

●安全にお使いいただくために必ずお守りください。



警告： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 設置は、本書に従い確実に行ってください。設置が不完全な場合、感電・火災・けが・水漏れの恐れがあります。
- 本体を、押入れ、物置等の密閉された場所や、燃えやすいものが近くにある場所に設置しないでください。火災の恐れがあります。
- 配線工事は、関連する法令規定に従って必ず「有資格者」が行ってください。接続が不完全な場合、火災の恐れがあります。
- 本体は、地盤強度を確認の上、本書に従い必ず水平に設置してください。設置が不完全な場合、火災・けが・水漏れの恐れがあります。
- アース工事は本書に基づき確実に行ってください。法令により D 種接地工事が義務づけられています。アースが不完全な場合、感電の恐れがあります。
- 電源は本書に従い専用回路にてご用意ください。電気容量が足りなかったり、他の器具とのタコ足配線の場合、過熱により火災の恐れがあります。
- 電源コードを途中で切断または延長したり傷をつけたりしないでください。感電・火災の恐れがあります。
- 電源端子・電源コードは必ず確実に接続してください。緩みがある場合過熱による火災の恐れがあります。
- 本体の改造・分解はしないでください。故障・感電・火災の恐れがあります。
- ノズルカバーを必ず取り付けてください。吸込み口より髪の毛が吸引される恐れがあります。



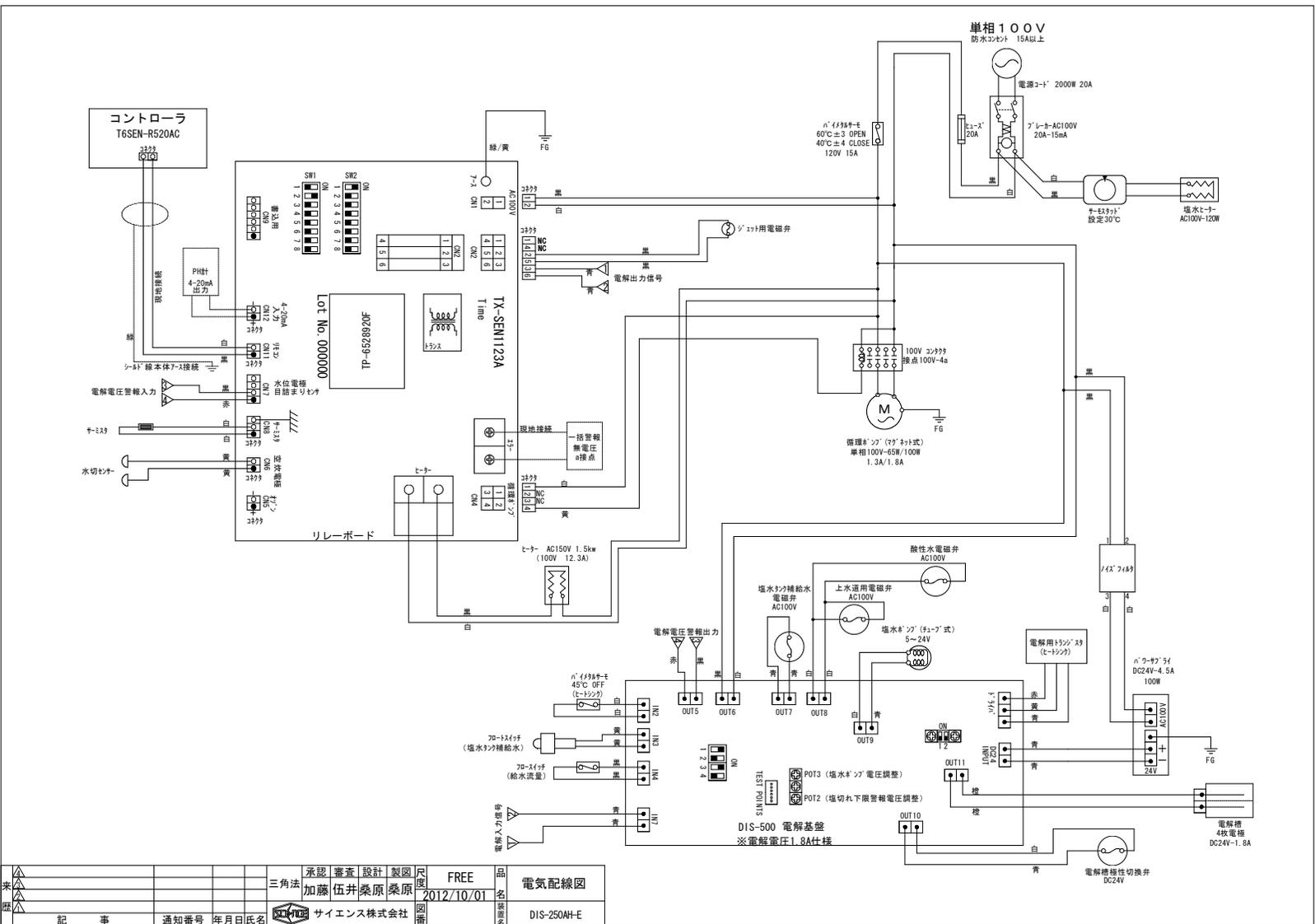
注意

- ガス配管およびガス機器の移設をする場合は、必ず最寄りのガス会社に連絡の上、専門業者にご相談してください。
- 工事の際に出る切り粉等、浴槽に傷を付ける恐れがある場合は、保護材にて養生してください。

目 次

①	本体図面	4～6
②	本体付属品	7
③	基本系統図	8
④	設置工事における注意事項	9～10
⑤	設置場所の選定	11
⑥	本体据付工事	12
⑦	ノズル取り付け工事	13
⑧	配管工事・保温工事	14
⑨	電源工事	15
⑩	コントローラー取り付け工事	16
⑪	試運転調整	17
■	試運転チェックシート	18

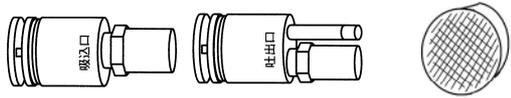
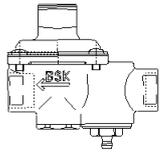
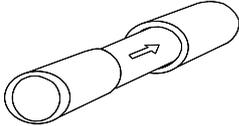
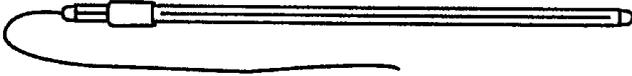
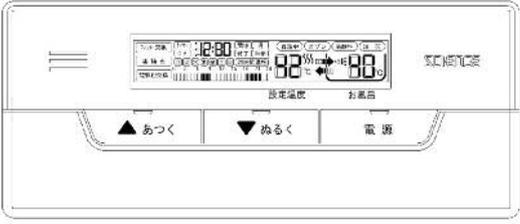
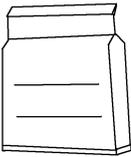
■電気配線図 (DIS-250AH-E)



承認	設計	製図	尺図	FREE	品名	電気配線図
加藤	佐井	桑原	桑原	2012/10/01	品番	DIS-250AH-E
記事	通知番号	年月日氏名	サイエンス株式会社	図番		

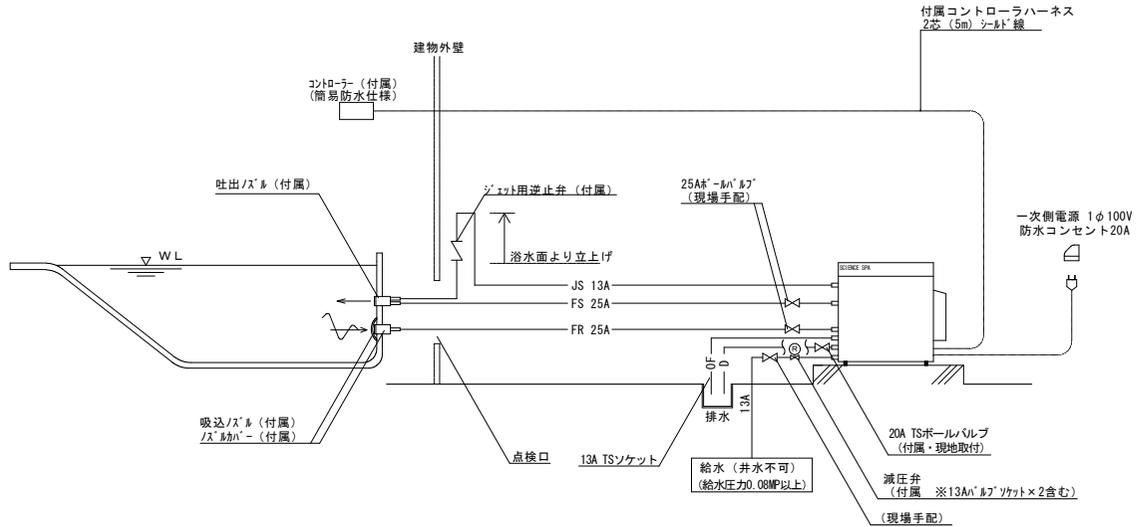
2

本体付属品

付属品一覧表		
	吸込 吐出 ノズルカバー	
1		循環ノズル 吸込ノズルカバー (別梱包)
2		減圧弁 バルブソケット(13A)2ヶ
3		ジェットの逆止弁
4		アース棒
5		コントローラー (取付ビスアンカープラグ 2ヶ)
6		コントローラー用 ハーネス 5m 2芯 (シールド線付)
7		食塩パック(5kg×1)
8		取扱説明書・保証書 設置工事要領書

下記基本系統図を参考に設置工事行ってください。

DIS-250AH-E 基本系統図



凡例

記号	種別	配管口径	材質	規格
-JS-	ジェット7-配管	13A	硬質塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6742
-FS-	ろ過循環管 (往)	25A	耐衝撃硬質塩化ビニル管 (HIVP)	JIS K 6742
-FR-	ろ過循環管 (還)	25A	耐衝撃硬質塩化ビニル管 (HIVP)	JIS K 6742
-OF-	オーパ-フロ-配管	13A	硬質塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6742
-D-	ドレン配管	20A	硬質塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6742
-給水-	給水配管	13A	硬質塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6742

※凍結の恐れがある場合は、給水配管に凍結防止対策をおこなってください。
 ※ろ過循環管および給水配管には保温を行ってください。

電気容量

相	電圧	電流	備考
1φ	100V	65W/100W	循環ポンプ
		110V-1500W	電気ヒーター
		400W	制御・その他

設置範囲

項目	範囲
横引き	7m以内
高低差 (浴槽上方)	2.5m以内
高低差 (浴槽下方)	1m以内

記事	通知番号	年月日氏名	承認	審査	設計	製図	尺	度	品名
			小山	桑原	桑原		2014年7月29日	図	基本系統図
			サイエンス株式会社					図	DIS-250AH-E

【浴槽・機種を選定】※該当浴槽容量は機種によって異なりますので、あらかじめ確認してください。

- 浴槽の材質がステンレス・大理石・ホーローの場合、浴槽の艶消し、変色を引き起こす可能性があります。
- 自然石を使用した浴槽・木製浴槽は使用できません。
- 浴槽内の金属部に錆びや変色する場合があります。
- コンクリート材の目地にエポキシ樹脂系等のコーキングを施してください。
- 素焼のタイルは使用できません
- 浴槽排水栓の材質がステンレス製であることを必ず確認してください。

【ノズルの選定】

- ノズル（循環金物）は、本書が指定するものまたはステンレス製を選定してください。

【配管工事】※重要事項につき必ず読んでください。 ※ P8を参照ください

- **循環配管は HIVP を使用し、ろ過器本体付近にメンテナンス用の樹脂製ボールバルブ（ユニオン・現地手配）を必ず設置してください。【吸込・吐出口両方】**
- 吸込、吐出ノズル循環配管とジェットエア配管がソケットになっています。
- 上水道引込配管は **VP を使用し、メンテナンス用バルブを必ず設置**してください。また、**必ず上水道を使用**し水質によっては、フィルター又は軟水器が必要（給水圧力 0.08MPa 以上）。**井戸水・地下水は使用できません。**
- **付属されている減圧弁**を水道配管に必ず取り付けて下さい。
- 吸込配管の浴槽に近い位置へ**樹脂製逆止弁（チャッキ弁）**を取付けてください。
- 浴槽吸込金物よりろ過器本体が高い場合はメンテナンス可能な位置へ取付けてください。浴槽近くに設置できない場合は、浴槽水面よりも低い位置へ設置してください。（本体が浴槽底部よりも高い場合、落水して水切れセンサーにより運転停止します。）
- **オーバーフロー排水配管**は、本体設置付近で常時排水が流れる場所へ接続してください。（台所・浴室・トイレ・排水桝）
- 本体配管接続口は塩ビ製のソケットになっております。
- **本体排水用バルブを必ず設置してください。（同梱品）**

注：凍結の恐れがある場合は、往還配管、上水道引込配管に凍結防止ヒーターを必ず設置し、保温工事を実施してください。また、専用の本体カバーをご使用ください。

※ 保温工事は試運転完了後に行ってください。

【電気工事】

- 現地調査の段階で、電源・容量の有無を確認してください。

【アース工事】

- D種接地工事（アース）を必ず行ってください。

【その他の注意事項】

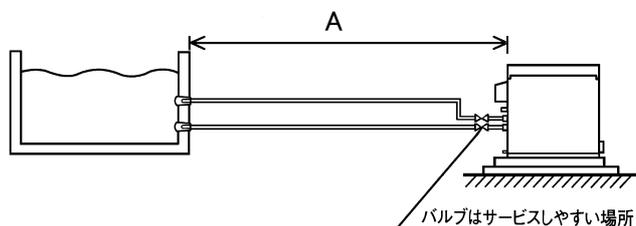
- 他の機器との接続および改造は、絶対に行わないでください。
- 付属品は、所定の位置に必ず取り付けてください。
- 設置工事要領書以外の施工に関しては、保証期間中であっても保証しかねる場合があります。
- 電解運転時は、水道水を消費します。また、アルカリ水が排水されます。

水道水消費量：1,000ml/min アルカリ排出量：500ml/min

① 配管の長さは片道7m以内としてください。

※ジェット用エア配管にジェット用逆止弁を取り付けてください。(P8参照)

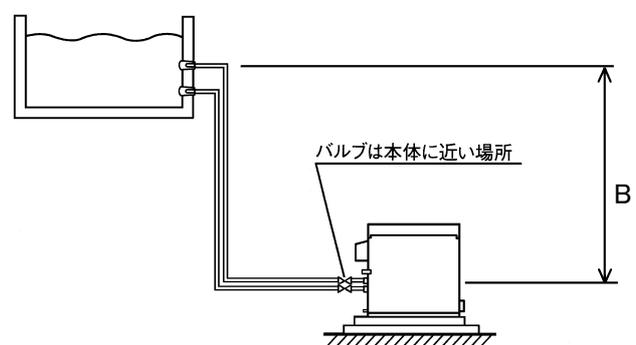
A	7m
---	----



② 本体が浴槽より低い場合は、浴槽側の吐出ノズルと本体側の吸込の高低差が下記以内となるようにしてください。

※ジェット用逆止弁は、メンテナンスが可能な位置に取り付けてください。(P8参照)

B	2.5m
---	------

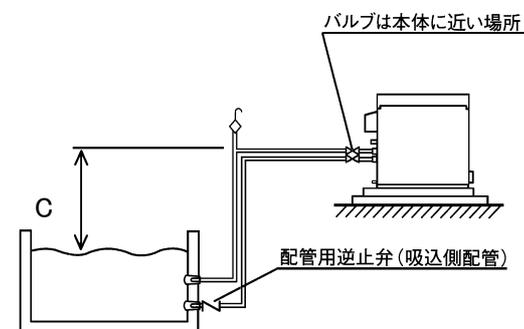


③ 本体が浴槽より高い場合は、本体側の吐出と浴水面の高低差が下記以内となるようにしてください。

※吸込配管の浴槽に近い位置で配管用逆止弁を取り付けてください。配管用逆止弁にはスイング型を使用してください。

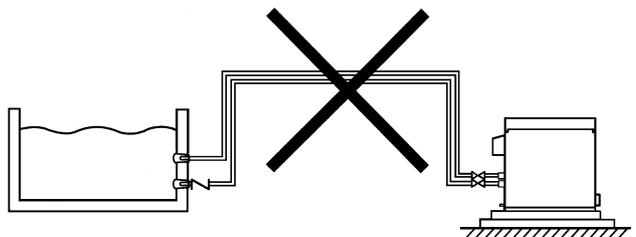
※吐出配管の最も高い位置にエア抜き弁を取り付けてください。

C	1m
---	----



④ 鳥居配管は避けてください。

※エアだまり等で循環不良の原因となります。



5

設置場所の選定

本体設置面に凹凸がなく、勾配のない場所を選んでください。

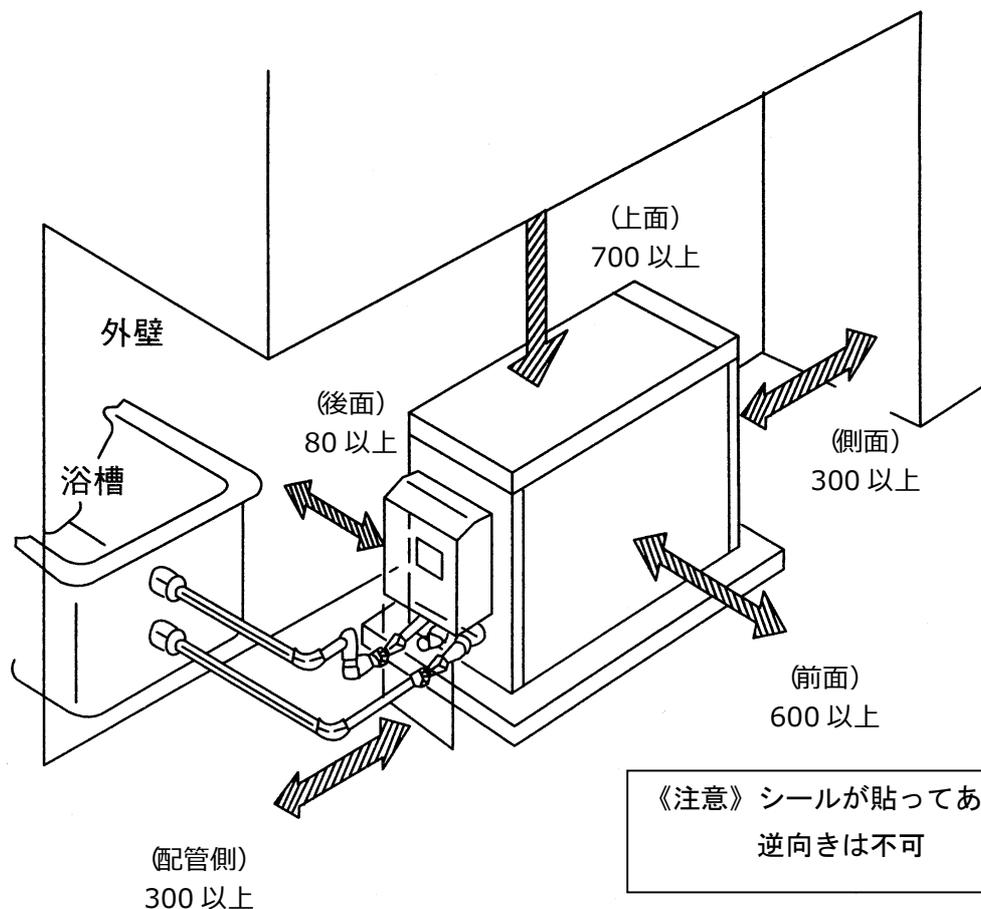
- 水没する可能性のある場所は避けてください。
- 本体の運転重量に十分耐えられる場所で、騒音や振動が増大しない場所を選んでください。
- 発熱機器の近くは避けてください。
- ガスや悪臭の発生しない場所、ほこりや湿気の少ない場所を選んでください。
- 機器のメンテナンススペース(保守点検・アフター)の確保をしてください。
- 人の通行に支障のない場所を選んでください。

※シールが貼られている面が正面となります。メンテナンスは正面側から行ないます。

- D種接地工事(アース)を必ず行ってください。
- 現地調査の段階で、電源・給水・排水の有無を確認してください。

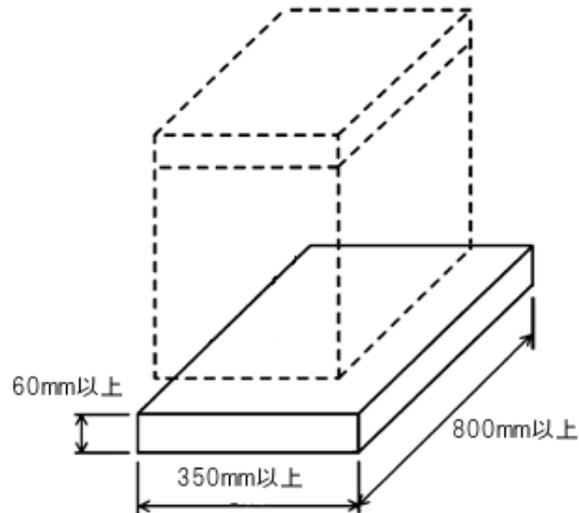
※防水コンセントを本体付近に専用でご用意ください。(第二種電気工事)

本体メンテナンススペース



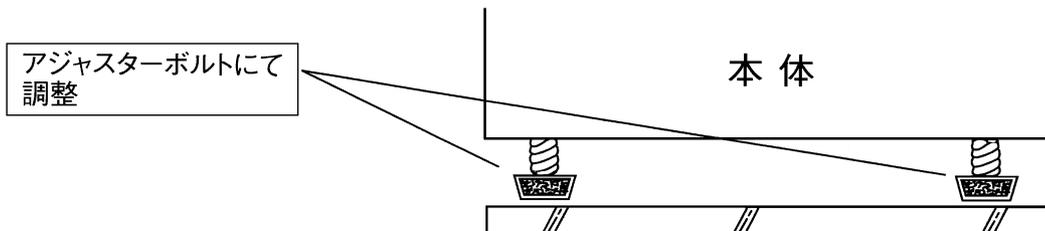
基礎工事

- ゴム足(アジャスターボルト)にて設置してください。
- 基礎はブロック置きでも可能です。
- 本体寸法 846 W×324 D×622 H、全重量(水有り)の本体重量は57kg となります。



本体設置工事

- 本体の配管接続は、正面から見て右側となります。浴槽に対して配管工事が簡単な設置場所を選んでください。
- 配管接続が逆になる場合は、本体と壁面の間を通すか、地中埋設配管としてください。
- 水没の恐れがない場所に設置してください。
- 本体のゴム足がアジャスター式になっていますので、水平になるように設置してください。
- 電源、給水、排水が確保できることを確認してください。



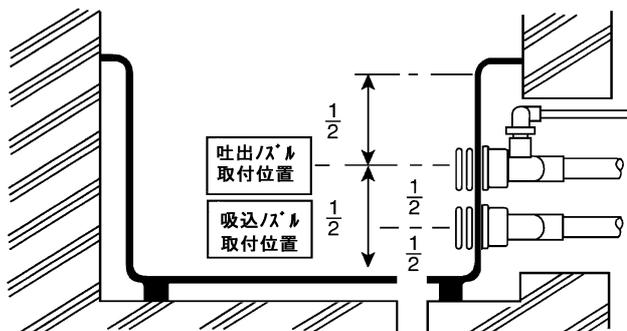
7

ノズル取付工事

浴槽・壁の開口位置・寸法だし及び開口工事

- ① 浴槽のノズル開口位置の寸法出しを行い、50φの穴を開けてください。
- ② 浴槽の穴位置から、配管貫通部分となる外壁(点検口)を開口してください。(200mm×200mm程度)

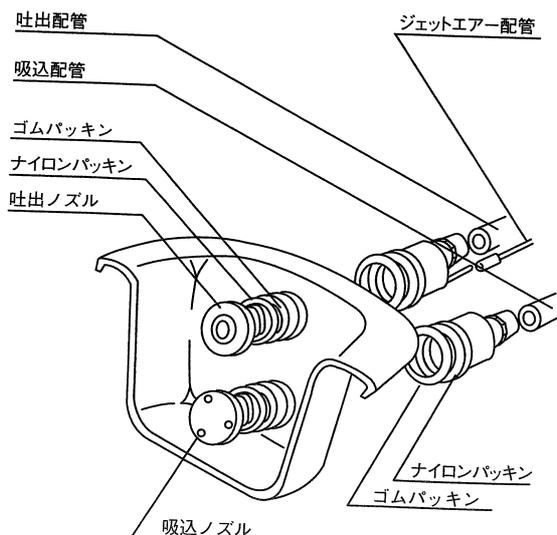
- ※ 給排水・ガス管・電線管など障害物が開口部に通っている場合がありますので、注意してください。
- ※ ノズルの取り付け面(穴あけ場所)は、なるべく平面を選んでください。曲面だとパッキンが効かず、水漏れの原因となります。

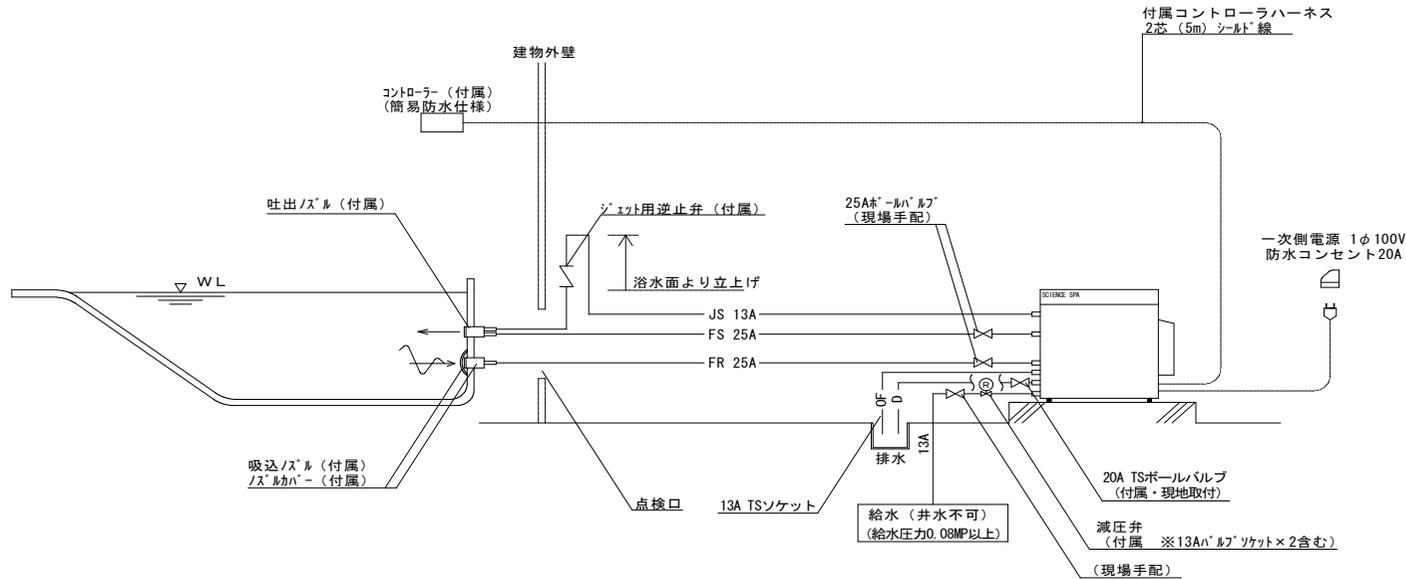


ノズル取り付け・配管取り付け工事

- ① 右図に従い、ノズルを浴槽の外側から押さえて固定し、内側からしっかりねじ込んでください。
- ② ノズルに循環配管、ジェット用配管をそれぞれ接続し、外壁の開口部より取り出してください。

- ※ 浴槽のノズル(パッキン)がある部分は、浴槽の断熱材をきれいにはがしてください。パッキンの部分より水が漏れる可能性があります。
- ※ 配管貫通部分の外壁開口部は、ステンレス板などで養生し、点検口として残してください。また、内部に雨水などが浸入しないように防水処理してください。
- ※ ノズル取り付け後、付属のノズルカバーを取り付けてください。取り付け方法は、ノズルカバーに同梱しています。





設置工事上の注意

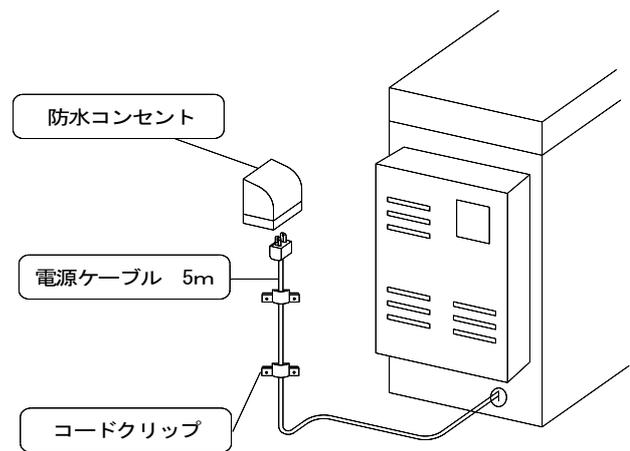
- 1) 本体配管接続口は塩ビ製のソケットになっています。上記フロー図、配管口径の通り配管を施工してください。
- 2) 循環配管はHIVPを使用し、本体接続部分にメンテナンス用の樹脂製ボールバルブを必ず設置してください。
- 3) 吐出ノズル循環配管とジェットエアー配管がソケットになっています。上記フロー図、配管口径の通り配管を施工してください。
- 4) 上水道引込配管はVPを使用し、メンテナンス用バルブを必ず設置してください。
また、必ず上水道を使用してください。井戸水は使用しないでください。
- 5) アルカリ排水チューブは、本体設置付近の排水に取ってください。

注：寒冷地の場合は、循環配管、上水道引込配管に凍結防止ヒーターを必ず設置し、保温、ラッキング工事を実施してください。

専用コンセント設置工事

- ① 防水コンセントを、本体付近に専用でご用意ください。(工事は有資格者が必ず行ってください。)
- ② 本体付属の電源ケーブルは、足などに引掛けたり抜け落ちないように、コードクリップなどで固定してください。

※ 電源プラグをコンセントに差し込む時は必ずブレーカー窓を開け、本体ブレーカーのスイッチを切ってから差し込んでください。



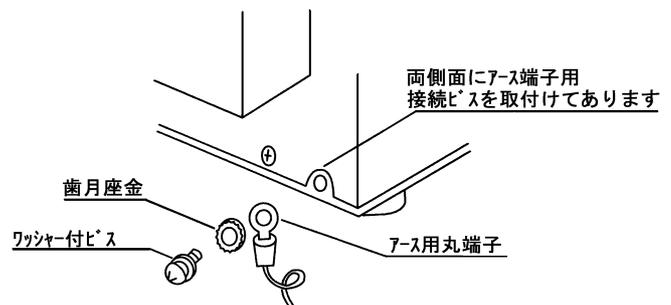
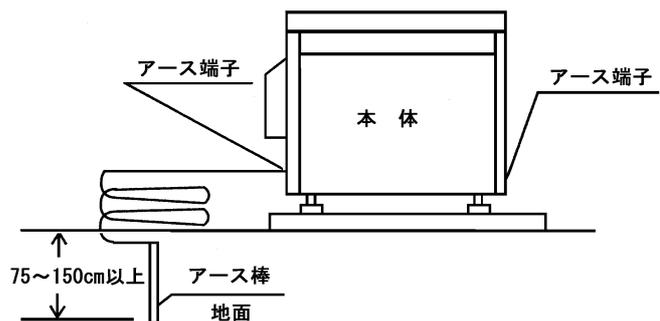
アース工事

○ D 種設置工事を必ず実施してください。

※アース棒を、右図の様に地中に埋め込んでください。

※ 専用コンセントを設ける際に、分電盤からアースを引っ張り、アース付のコンセントを設置しても可能です。

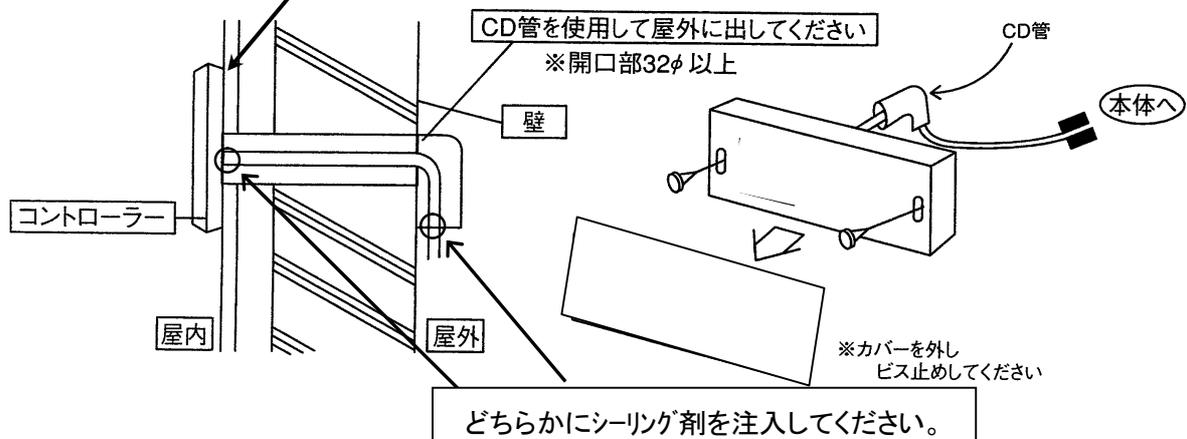
※ ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路、又は漏電遮断器をいれた他の製品のアース回路には接続しないで下さい。



コントローラー取り付け

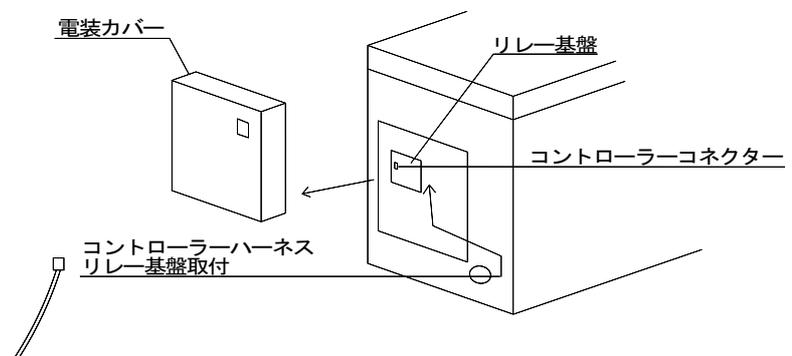
- コントローラーの取り付けは、操作のしやすいところ、直接水のかからない場所に、お客様と打合わせの上取り付けしてください。

注:コントローラー取り付け後、必ず周りをシールしてください。
故障の原因になる場合があります。



コントローラー本体接続

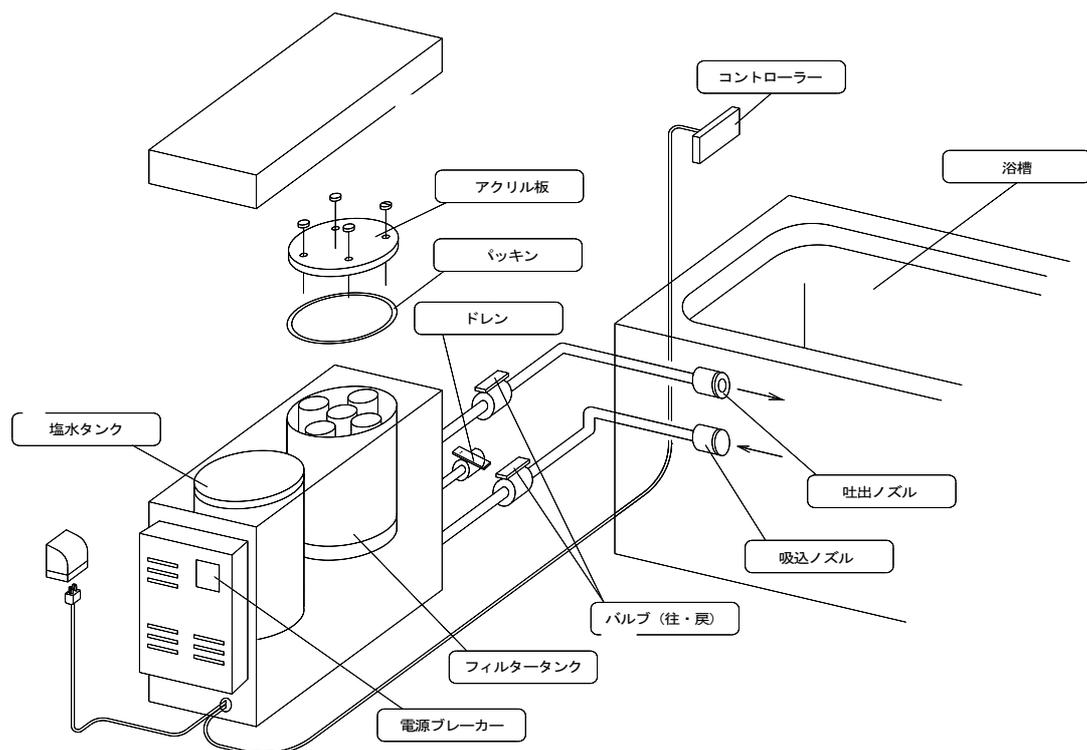
- ① 電装カバーを外します。
- ② 付属のコントローラーハーネス (5m)を電装部リレー基盤上のコントローラーコネクタに取り付けてください。
- ③ コントローラーハーネスのシールド線は電装カバー内のアースに接続してください。



- ※ 新築にてハーネスを壁内に埋設する場合は、CD管等で保護をしてください。
※ ハーネスは、電源ケーブルと、一緒に束ねないでください。

《 手順 》

- ① バルブが閉まっていることを確認してください。
- ② 各端子部にゆるみがないか確認してください。
- ③ 浴槽(タンク含む)にお湯が張ってあることを確認してください。
- ④ アクリル蓋を確実に固定してください。
- ⑤ 食塩を食塩タンクに投入してください。
※食塩水があふれないように注意。
- ⑥ 浴槽にお湯が張ってあることを確認してください。
- ⑦ バルブを開いてください。
- ⑧ 本体ブレーカーをONにしてください。
- ⑨ コントローラーの「電源ボタン」を「入」にして、操作を確認してください。(別紙、取扱説明書参照)
- ⑩ ポンプの回転方向を確認してください。
(逆回転の場合は、端子台にて配線の入換をしてください。)
- ⑪ 循環していることを確認してください。
- ⑫ ポンプとヒーターの運転電流を確認してください。
- ⑬ 電解状態を確認してください。
- ⑭ 水漏れ、エア吸いをしていないか確認してください。



試運転チェックシート

試運転チェックリスト

1	循環はしているか	良	不
2	ジェットは出ているか	良	不
3	ヒーターは作動しているか(昇温するか)	良	不
4	電解イオンは作動しているか(アルカリ排水があるか)	良	不
5	タイマーがセットできるか	良	不
6	コントローラーの表示温度と実温は合っているか	良	不
7	配管からのエア吸いはないか	良	不
8	配管からの水漏れは無いか	良	不
9	漏電ブレーカーは正常に作動するか	良	不
10	その他、機械本体に異常な箇所は無いか	良	不

※ 1～5 の詳しくは別紙、取扱説明書のコントローラー操作方法を参照し、確実に行ってください。

※ 7・8 は目視にて確認してください。(保温工事は試運転調整後に行ってください。)

※ 異常があった場合は、弊社までご連絡ください。



■本 社

〒331-0812

埼玉県さいたま市北区宮原町 2-15-10 TEL: 048-665-7733

■水・エネルギー営業部 SPA 営業

〒331-0812

埼玉県さいたま市北区宮原町 2-15-10 TEL: 048-653-2641

■水・エネルギー営業部 SPA 技術

〒331-0812

埼玉県さいたま市北区宮原町 2-15-10 TEL: 048-668-1126

